

森林率日本一。 森の国・高知の県産材

高知県は海や川のイメージが強い県ですが、県土の84%を林野が占める全国屈指の森林県です。この豊富な森林が清流四万十川や仁淀川の清らかな流れを育み、豊かな自然とその恵みを生み出しています。

● 森林率 **84%*** **全国1位**

● 人工林率 **65%** **全国2位**

● スギ生産量(H23) **281千m³** **全国11位**

● ヒノキ生産量(H23) **172千m³** **全国3位**

*高知県の森林率

高知県は71万haの県土のうち約84%にあたる60万haが森林に覆われ、その森林率は全国1位です。

資源量
豊富な
土佐材

土佐材の主な産地



土佐ヒノキ

古くから高知はヒノキの産地として有名です。「土佐ヒノキ」、「幡多ヒノキ」、「四万十ヒノキ」などと呼ばれています。材の芯のあざやかな赤みと強い香りが特徴で、油脂分を多く含んでいるため、年月を経るごとに光沢が増し、耐久性も高いのが特徴です。こういった高知県産ヒノキの特徴が評価され、京都の西本願寺の修復や新国立劇場の舞台の床材にも使われています。



土佐スギ

全国的にも有名な「魚梁瀬スギ」や、心材部の色が淡いピンク色で美しい「嶺北スギ」など、高知県内各地にスギの産地があります。まっすぐで色目がよく、主に構造材に適していて、古くは京都二条城や江戸城の築城にも用いられたといわれています。板目でも柾目でも美しい目合いが見られるのも特徴です。



大阪城に使用された土佐材!

土佐材は、大阪城築城の時に太閤秀吉から「日本一」というお墨付きをもらったことで、全国に知られる銘木となりました。江戸時代の初期には大阪城や伏見城などの修築をはじめ、大きな戦乱に巻き込まれた大阪のまちの復興にも多くの土佐材が使われるなど、昔から全国で広く利用されてきました。



吉野川上流白髪山のひのき、高知県東部の魚梁瀬杉をはじめ、土佐の山々から藩の御用木として幕府に献上されました。また、大阪に日本で最初の木材市場を開き、土佐藩の財政救済に貢献してきた歴史があります。今も大阪に残る「土佐掘」「白髪橋」といった地名はその名残りといわれています。

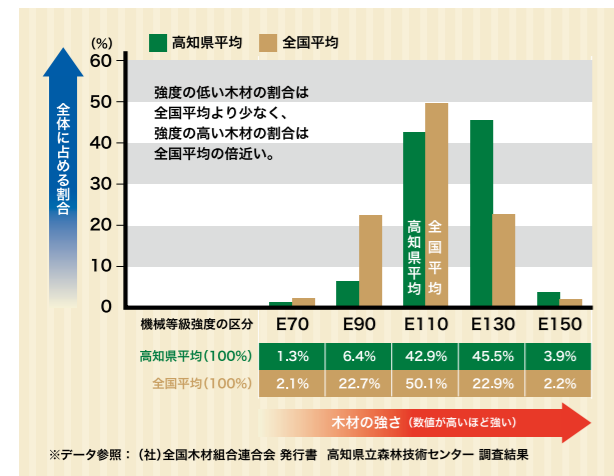
秀吉に「日本一」と
言わせた銘木



品質を「数値化」して 信頼される木材へ

信頼のブランド！高知県産ヒノキ材

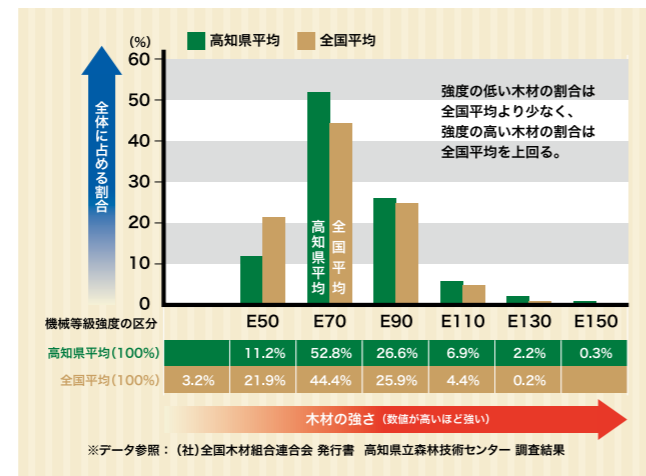
機械等級強度の出現率を全国と高知県の平均値と比較すると、全国平均はE110以下が74.9%、E130以上が25.1%。高知県はE110以下が50.6%、E130以上が49.4%と、高知県産ヒノキ材は強度区分の高い木材が多く、全国的にも強度が高いことがわかりました。



測って納得！高知県産のスギ材

強い高知のスギ材

高知県産のスギの機械等級強度の出現率は、E70以上が88.8%と全国平均の74.9%より高く、強度に優れていることが分かります。



消費者へ安心と安全を届けるために

性能の表示

木材は天然素材ですので、製品ごとに「強度」や「含水率」が異なります。高知県では、確かな技術で加工した構造材を、一本一本、グレーディングマシン（強度測定器）や含水率計を使って測定し、性能・品質を明らかにして出荷することも可能です。また、JAS（日本農林規格）の乾燥・機械等級などの認証取得に努め、JAS製品の出荷にも取り組んでいます。



性能表示の記載例



産地証明の記載例

機械 + 手加工によるプレカット



昨今の、住宅供給の合理化により在来軸組工法も合理化を求められています。高知県のプレカット工場では、CAD 入力機械による多様な仕口加工はもちろん、消費地の大手プレカット工場が対応できないような手加工（追掛継手、コミ栓等）も、

土佐の木を知り尽くした産地の職人が対応しております。



安心・安全・高品質の証明

安心安全を確かなものへ 『高知県立森林技術センター』

森づくりから、原木（丸太）の生産、製材品の加工・利用まで、高知県の森林資源の有効活用にかかわる研究と開発に取り組んでいます。特に木材加工分野の研究においては、全国でも有数の広さと各種実験施設を備えており、多様化する消費者の安心安全に対するニーズにお応えするため、「製品の品質向上」や「製造コストの低減」などを目指し、県内企業と共に研究に取り組んでいます。



床構造体の水平耐力試験



土壁の耐力試験



木材の熱処理試験



クリープ試験



木材の乾燥試験



曲げ試験



接着重ね梁の接着性能試験



接合部の強度性能試験



床暖房用無垢材の熱耐久試験